

国宝【山鳥毛】購入にかかる予算の詳細

詳細	金額	事業費
刀購入予算	5億円	11.6億円
名刀博物館改修費	1億円	
ふるさと納税返礼品(送料含む)	3.6億円	
クラウドファンディング委託料(成功報酬)	1.7億円	
その他、消耗品、印刷製本費、シンポジウム etc	0.2億円	

今回の国宝【山鳥毛】の購入については、購入を表明してから、賛否両論たくさん意見を伺いました。ただ、現時点でいえるのは、刀の購入の財源はクラウドファンディングとあって、インターネット経由で不特定多数から資金調達するという事です。財源は寄附を集めるもので、市税は使わないとしていることです。

そして、1月21日時点の寄附金 総額が **181,791,645 円**。

現在の寄附金額の詳細については、まだお答えできないとして教えてはもらえませんでした。今月の28日に担当委員会があるので、その時には発表があると思います。

個人版ふるさと納税の締め切りが1月31日。企業版ふるさと納税が3月31日。現在寄付金総額で半分強が個人版、残りが企業版と聞いています。

ところで、企業版ふるさと納税とは、企業からいただくふるさと納税で、返礼品はありません。3月31日時点で目標の5億円に達しない場合は、ノーサイドとなり寄附はいただくことはできません。

個人版のふるさと納税は、市外の方は、返礼品30%がポイントでもらえます。市内の方は、返礼品をもらうことはできません。

残念ながら、あと2週間で今の状況が劇的に変化するような希望は持てません。となると2月議会では、議会に対して何らかの判断を求められることになるのではないかと考えています。

今の状況のまま期限を延ばすのか、あきらめるのか、市のお金をつかうのか……。今の段階では、私として答を出すことはできません。ただ一つ言えるのは、市税を充当することには反対です。

しっかり残りの時間で考えていきたいと思えます。ぜひ、お考えをお聞かせください。



とっしん's コムラ

やっと、図書館の鎖国が解除となりました。

それは、一昨年11月1日から、5市4町（岡山市・玉野市・備前市・赤磐市・真庭市・和気町・早島町・美咲町・吉備中央町）で図書館相互利用事業が開始されました。市町をまたがって図書館の利用が可能になったのです。しかし残念なことに本市は、参加しなかったのです。

以前は、備前の新庄や鶴海の方は本市の図書館を利用することができていました。新図書館ができてから市外の方は利用できなくなったのです。相互利用さえできれば、私たちが西大寺に行ったついでに、百花プラザの図書館を利用できます。

ぜひ、一日も早く本市も、相互利用事業に参加するよう要望していましたが、平成30年10月2日から5市4町に加えて、瀬戸内市の図書館でも、図書などを借りることができるようになりました。

そして、平成31年1月8日から、相互利用サービスで借りた図書などは、6市4町の図書館で返却ができるようになりました。

すばらしいことだと思いませんか。

今回も私の拙い行政報告にお付き合いいただきまして、ありがとうございます。ぜひ皆様の感想等、何かの折に声をかけてやってください。よろしくお願い致します。



皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。

今年は亥年です。私のトレードマークとも言えます。今まで通り、『とっしん』で頑張っていきますので、本年もどうぞよろしく願い致します。

そんな亥年が皆さまにとっても、亥【い】亥【い】年になるよう、そして元気で頑張れる一年になりますよう、お祈り申し上げます。

私はいつも、皆さまの声を市政に届けていきたい、その思っています。その思いは、今もこれからも変わることはありません。

これから、ますます寒くなってまいります、皆さまにはどうかご自愛ください。

今回の私の一般質問は

- ①ごみ行政について
 - ②長船・牛窓の学校給食調理場について
- を取り上げさせていただきました。

★ 11月議会での行政報告をまず最初にさせていただきます。

本市の幼稚園でおこなっている預かり保育が、春から3歳児から利用できるようになります。

1学期の6月から夏休みまでは、月火水曜日の降園時（13：30）から、18時まで利用できます。2・3学期は、降園時（14：00）から18時まで、夏休みは8：30から18：00まで利用できます。

受け入れの拡大は、素晴らしいことだと思います。

ただ心配なのは、3歳児を受け入れることによってお昼寝もさせなければいけないでしょうし、間違いなく今までよりも手がかかるようになると思います。その人的確保にも対応しなければいけないということです。

それと共に、本市の子育て環境についても、考える時期に来ているのではないかと思います。今年の10月からは、3歳児以降の保育料が無料になります。そのことによって、かならず本市の子育てに対する要望も変わってくると思うのです。

今回の幼稚園の3歳児の預かり保育も、保育園へのシフトを心配しての一面もあると思います。

近隣の赤磐市や備前市は子ども園への移行を始めています。本市のまちづくり会議の提言には、こども園への移行を検討するとあります。ここ最近では、幼稚園の園児数が減って、幼稚園は空き教室ができ、保育園は園児が増え手狭になり、教室不足も発生し始めています。

そろそろ、本市の子育て環境を本気で考える時が来ていると考えます。子育てを一生懸命頑張っている保護者が、『良かった・楽になった』と思えるような施策にしなければいけないと思います。

そして、これ以上子どもを産み育てることは難しいと思わせるのではなく、これならもう一人いてもいいかなと思えるようにしていかなければいけないと思っています。



平成31年1月29日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員



くさか としこ

〒701-4273
瀬戸内市長船町磯上 569
TEL/FAX 0869-26-6420
携帯 TEL 090-5702-8336
ホームページ
<http://www.kusaka-toshiko.jp/>

①ごみ行政について

平成 22 年にごみ 30%減量を打ち立てて、H22 年は 6.8% H23 年は 4.3% H24 年は 9.0% H25 年は 10.7% H26 年は 13.8% H27 年は 14.6%とあまり変化が見られなくなってきています。

まず、減量率の目標値について、もうすこし現実的な数字にしてはどうかと提案しました。

テストの点だって、いきなり100点を目標にしたのでは、どうせ無理とやる気になれないのではないのでしょうか。

回答は、このままの目標でやっていきたいというものでした。最近では以前発行していた『ごみダイエツト通信』も発行されなくなっています。市民への啓発活動も盛んにおこなわれているとは、決して言えない現状です。このままの数字で行くのならば、かなりのことをしない限り、実現には程遠いと言えます。今後も、提案し続けていきます。

また、ごみの収集について、さまざまな観点から質問しました。

まず第 1 に、ごみ収集と、収集委託料・処理委託料について。

H29 年度決算ベースですが、ゴミの収集委託料が 1 億 2247 万円です。ごみの収集委託料は地域や業者によって異なるようですが、1 年間のごみ収集日が 200 日あります。なので、単純に割って 1 日が 61 万円となります。

たとえば平成 26 年 4 月から収集が始まったプラスチック製容器包装ですが、プラスチック製容器包装の処理委託料が H29 年はキロ 60 円 H30 年はキロ 55 円です。H29 年度の決算ベースで、985 万円かかっています。

そして、月 2 回 12 か月ですから、1 日の 61 万円をかけて収集にかかる費用がざっと 1500 万円 985 万円の処理費用と合わせてざっと 2500 万円の費用がかかっていることとなります。

私は、プラスチック製容器包装を毎週回収してほしいと主張していますが、税金の無駄遣いになるというふうに言われました。プラスチック製容器包装の処理費用も当初はキロ 35 円で処理してもらっていたのが、現在ではキロ 60 円もかかっています。

市民はこのことがわかっているのでしょうか。プラスチック製容器包装は、ペットボトルや缶のようにお金がもらえるように思っているのではないのでしょうか。今のようプラスチック製容器包装の集め方こそ、もしかすると税金の無駄遣いかもしれません。今のよう中途半端な集め方では、市民の生活も市の税金もだれも幸せにはなれない気がします。もうプラスチック製容器包装に埋もれる生活はちょっとこりこりしています。

お金がどれだけかかっても環境を考えたエコな生活を追求するのか、費用対効果を考えて、プラスチック製容器包装の収集を縮小するのか、どちらかにすべきだと思います。

次にたとえば、H27 年から始まった古布や古紙の収集ですが、月 1 回で収集料がざっと 700 万円です。これらについては、小学校等の資源化物回収でも集められていますし、エコステーションへの持ち込みもできます。民間の力をたよることができることに、700 万円ものお金をかけて集めなくてはならないのでしょうか。

また、長船地区では飲料缶は月 2 回収します。1 回の収集料は 700 万円です。月 2 回も集めなくても月 1 回でもかまわないのではないのでしょうか。プラスチック製容器包装が家の中にあんなにあふれかえっているのを考えると、飲料缶が 1 か月たまって何の支障もありません。

次に、生ごみについて。

ゴミの減量に一番効果があるのはなんといっても、生ごみです。コンポストの普及を呼び掛けたぐらいでは、減量になるとは到底思えません。ごみを減らすには、生ごみを燃やさないようにしなければ、ごみの減少にはつながらないと思います。

でも、それをすると、またまた経費が莫大にかかります。

これらのことを考えるに、ごみ行政について一度立ち止まって見直すべきではないかということです。

そして、ごみの収集委託料 1 億 2247 万円ですが、どうやら複雑な計算があるようで、単純に 200 日割するわけにはいかないようです。今後は、ごみの収集委託料についても勉強して、皆さまにご説明できるようにしたいと思います。



家の中にあふれかえっているプラスチック製容器包装

②長船・牛窓の学校給食調理場について

瀬戸内市は、旧町単位で学校給食調理場を運営しており、それぞれの調理場で中学校・小学校・幼稚園の給食を調理し、それぞれの学校園に配送しています。

邑久学校給食調理場については、数年前から、米飯炊飯の機器に不具合が生じていました。そこで平成 26 年 11 月議会に米飯炊飯器の不具合から米飯炊飯を民間に委託する予算が提出されました。

私は、修正案を出して反対しましたが、議論の末、平成 27 年度から米飯炊飯が民間委託となりました。私はその後も、邑久の米飯メニューのお粗末さを指摘し、米飯委託ではなく調理場で米飯炊飯すべきだと主張してきました。

民間委託とはなりましたが、炊飯機器を整備し直営に戻すということで、平成 29 年夏期休暇中に整備しました。

当初は平成 29 年の 2 学期から一部直営に戻す計画でしたが、調理業務の臨時、パート職員を確保できず、民間委託せざるを得ない状況ということで、9 月議会に平成 30 年度 4 月から、邑久学校給食調理場において、調理、配送、洗浄業務を民間委託する予算 5,500 万円が提出されました。

これについては、苦渋の選択ですが賛成しました。献立、食材の発注は、今まで通りで、民間業者が給食調理場に入って作業するのです。

このことが発端となって、なし崩し的にほかの地域も委託になることを危惧していました。

案の定、教育委員会から長船・牛窓も業務委託したいとの報告がありましたが、総務文教委員会で、せめて 1 年業務委託した結果をしっかりと検証してからでなければいけないと、予算化は食い止めることができました。

本来の業務委託というのは、経営の効率化を目指して行うものと認識しているのですが、瀬戸内市の給食における業務委託は税金の無駄使いといわざるを得ません。

今まで通り、直営で経営するのが一番コストがかからないと思います。万が一、どうしても業務委託を考えるのであれば、まず、調理場の統合を考えるほうが優先と考えます。

牛窓の給食を、邑久調理場か長船調理場に統合すればきっと牛窓の委託料は不要になると考えます。

今回の一般質問では、各学校給食調理場のコスト比較をしてみました。

下の表を見ると一目瞭然ですが、牛窓は食数が少ないために、大変コスト高になっているのが解ります。

そして、本市の業務委託は少しも経営の効率化になっていない、割高なこと一目瞭然です。

その上、牛窓の学校給食調理場は平成 7 年の建築でかなり老朽化した建物です。実は、豪雨に遭うと雨漏りがする状態と聞いています。そんな建物を業務委託することは、難しいのではないのでしょうか。

目の前の調理員不足に振り回されるのではなく、長い目で将来を見据え計画を立てるべきではないのでしょうか。

一度業務委託してしまうと方針転換は難しいものになります。

しっかり、訴えていきます。

各学校給食調理場のコスト比較 単位 (円)

	邑久	長船	牛窓
竣工	平成 13 年	平成 16 年	平成 7 年
調理可能食数	2,100 食	2,000 食	1,200 食
調理食数 (H30)	1,650 食	1,310 食	450 食
必要調理員数	15 人	12 人	7 人
調理員数 (H30.4)	委託	12 人	7.5 人
直営価格		42,978,094	29,351,204
1 食コスト (年間 200 日計算)		164	334
業務委託価格 (見積)	52,000,000	54,000,000	37,000,000
1 食コスト (年間 200 日計算)	160	206	420

※牛窓学校給食調理場はかなり老朽化が進んでいます。